

方針 2. 女性活躍のための方策の推進

(1) 政策・意思決定過程への女性の参画拡大

【目指す将来像】

- 管理職など、指導的立場で活躍する女性が増え、すべての人が自らの力を発揮するとともに、多様な町民の視点や考え方をまちづくり、民間事業所・団体の活動に反映させていく活力あるまち

【現状と課題】

国では、女性の活躍を推進する取組を行ってきましたが、「指導的地位に女性が占める割合」は令和2年<2020年>で10%にとどまっており、目標としていた30%に届いていません。また、令和3年<2021年>の世界経済フォーラムでは、SDGsの目指す「目標5」である「ジェンダー平等の実現」において、世界156か国のうち、120位と低い状況にあります。

このような状況を受け、国では、令和2年<2020年>12月に策定した「男女共同参画基本計画」において、社会での女性の活躍を重視する計画を掲げています。

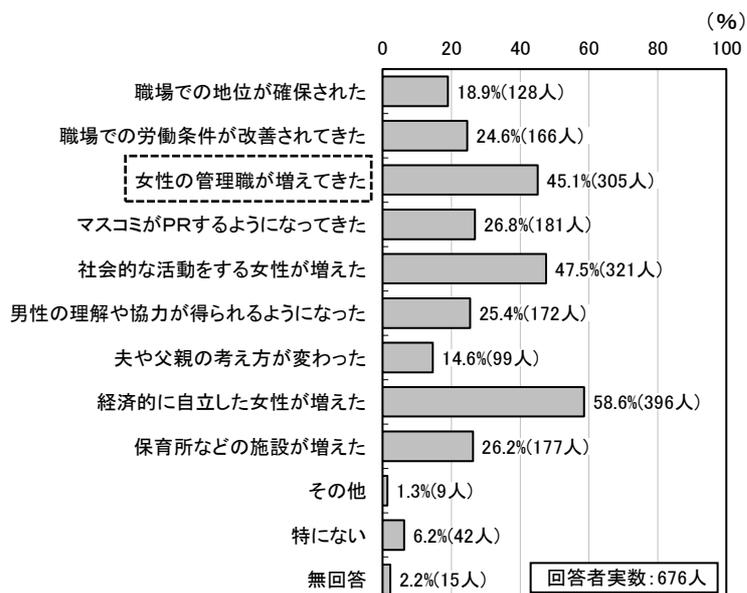
本町においては、多様な町民の視点や考え方をまちづくりに反映させていくためにも、あらゆる分野における政策等の立案及び意思決定において、すべての人が対等に参画することを目指して取組を行って来ました。

本町職員の女性管理職登用は30%であり、県平均の14%、全国平均の14.2%を上回り、県内では第1位と最も高くなっています。しかし、各種審議会等の女性登用の割合をみると、令和2年度<2020年度>では27.4%であり、10年前の平成23年<2011年>4月1日の32.8%を下回る状況にあります。県内でも17位と高くはなく、女性委員のいない審議会等もあります。審議会における女性の参画が課題となっています。

令和3年度<2021年度>の町民意識調査では、女性を取り巻く環境で変わってきていると感じることとして、「女性の管理職が増えた」という声が45.1%と半数近くを占めています。しかし、男性優位の社会の仕組みや制度が根強くあるために、女性の管理職が少ないという声が51.3%と半数を占めるほか、女性の能力発揮のチャンスが男性のように与えられていないという声も30.3%ありました。

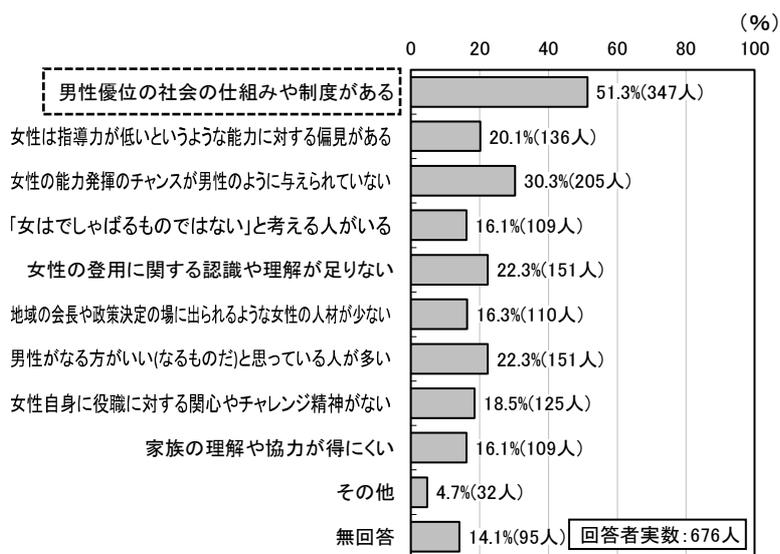
こういった状況を踏まえ、男性優位の社会構造を変え、すべての人が能力アップや力を発揮できるように取り組んでいくことが求められています。職場や地域、行政等あらゆる分野で女性の意識を高めていくとともに、女性の

女性を取り巻く環境で変わってきていると思うもの



能力を十分に発揮できるような支援や環境づくりを行うなど、政策・意思決定過程への女性の参画により、女性が一層活躍する社会づくりを進めることが必要です。

自治体の首長や議員、企業の管理職に女性の参画が少ない理由



【基本的な考え方】

管理職の女性登用を推進するとともに、女性の活躍について、職員への研修や女性職員の意識向上、リーダー育成に係る研修等を行うなど、積極的改善措置(ポジティブアクション)を行います。

また、審議会・委員会委員の選任の際にも、男女を問わず幅広い人材の登用を図り、女性委員のいない審議会等の解消や、女性委員比率の向上に積極的に取り組みます。さらに、民間事業所や各種団体、自治会等に対し、女性の登用・女性管理職登用の啓発を図ります。

【具体施策】

具体的な施策	施策の内容	担当課
①審議会・委員会など意思決定の場での女性登用率の向上	審議会・委員会委員の選任について、男女を問わず幅広い人材の登用を図ります。また、審議会・委員会等における女性委員のいない審議会等の解消や、女性委員比率の向上に向けて積極的に取り組みます。	全課
②役場女性職員の管理職等への登用促進	女性職員について、研修などへの積極的な参加を促すとともに、能力のある女性の昇任・管理職への登用、職域の拡大を図るなど、積極的改善措置(ポジティブアクション)の働きかけを行います。 また、このような女性職員をサポートするため、多くの職員の理解がある環境を整備します。	企画財政課 総務課
③民間事業所・団体等に対する女性の管理職登用の啓発実施	民間事業所や商工会等関係団体、自治会等に対し、女性の登用・女性管理職登用の啓発を図ります。	産業振興課 総務課

【家庭・地域・職場に期待する役割】

○家庭では：

- ・女性の活躍や男女共同参画の視点を踏まえながら、自らの力を発揮できるように、各種審議会・委員会等、まちづくりの様々な場に積極的に参画しましょう。
- ・地域の役職などに女性も積極的にチャレンジしましょう。

○地域では：

- ・女性の活躍や男女共同参画の視点を踏まえながら、優れた人材を役職として登用するなど、男女共同参画による地域づくりに努めましょう。

○職場では：

- ・女性の活躍や男女共同参画の視点を踏まえながら、優れた人材を管理職として登用するなど、公平な職場環境創出に努めましょう。

(2) 女性のエンパワーメントに対する支援の充実

【目指す将来像】

- 女性の潜在能力を引き出すことで、女性があらゆる分野で活動し、社会の発展により多く関わっていくまち

【現状と課題】

近年、共働き世帯が増加し、女性の社会進出が進んでいますが、指導的立場に占める女性の割合は世界と比べて低くとどまっています。女性が能力を十分に発揮するためには、本人の努力とともに、能力開発・人材育成などにより女性が力をつけていく支援の充実も必要となります。SDGsにおいては、目標の5番目に「ジェンダー平等を実現しよう」が掲げられており、ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図ることを目標としています。

令和3年度<2021年度>に行った町民意識調査では、首長や議員、管理職などへの女性の参画が少ない理由のうち、「女性自身に役職に対する関心やチャレンジ精神がない」という回答は18.5%で、10年前の調査時(28.5%)からやや下がっています。意思決定過程への参画などにおいて、女性の向上心は以前より高まってきていることがうかがえます。

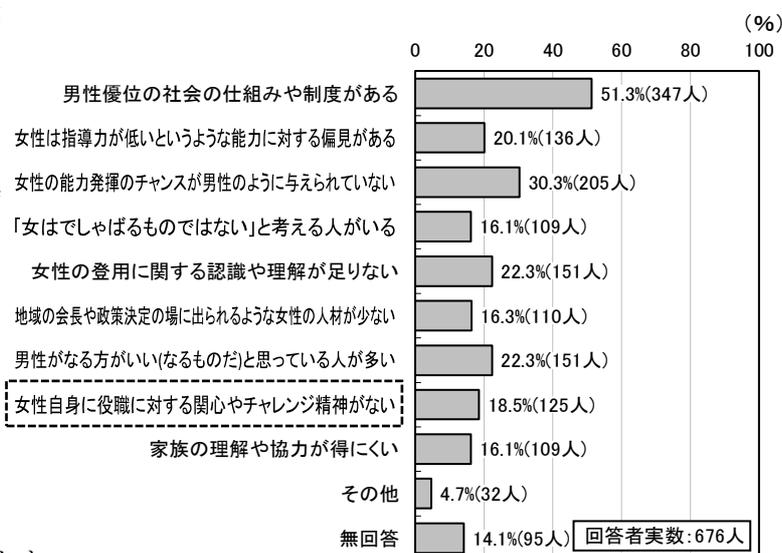
本町では、女性の研修参加を促し、女性リーダーの育成、女性団体の交流会など、女性のエンパワーメントと交流につながる取組を推進しています。

女性が社会の様々な分野で活躍し、責任ある役割を担っていくために、女性の能力向上のための支援及び、女性が力を発揮できる組織環境であることが必要です。

【基本的な考え方】

女性がその能力を十分発揮できるように、女性リーダーの育成及び女性のエンパワーメントや女性の能力開発につながる各種講座等の実施や情報提供等を行い、女性の意識向上と、責任ある役割を担い、やりがいを感じながら自分らしく生きていくための支援に努めます。

自治体の首長や議員、企業の管理職に女性の参画が少ない理由



【具体施策】

具体的な施策	施策の内容	担当課
①女性リーダーの育成	各団体や地域等で活動する女性リーダーの育成に向け、国内外の各種研修への派遣や女性リーダー研修の実施、女性のエンパワーメントにつながる生涯学習講座等の実施を図ります。	企画財政課 生涯学習文化課
②女性団体等交流会の実施と連絡協議会の設立支援	女性団体等交流会を開催するとともに、女性団体の連携を図りながら町女性団体連絡協議会の立ち上げを支援します。	企画財政課
③女性のための講座等の周知・広報	関係機関等が実施する、女性の人材育成講座等に関する情報の周知・広報を行います。	企画財政課 生涯学習文化課
④女性起業家への支援	町商工会や金融機関等の関係機関等と連携し、女性起業家育成のための講座の実施、情報提供や相談を行います。	産業振興課
⑤SDGsを活用した女性のエンパワーメントの推進	町内の女性団体等に対して、SDGsに関連する活動・セミナー・交流を推進することで、各団体間の連携を促進し、SDGsの活用による女性のエンパワーメントの推進を図ります。	企画財政課

【家庭・地域・職場に期待する役割】

○家庭では：

- ・女性のエンパワーメントに関心を持ち、関連する学習機会等に参加しましょう。
- ・男性も、女性のエンパワーメントに関心を持ち、社会参加する女性を支援しましょう。

○地域では：

- ・自治会等においては、幅広い人材の活用とリーダーの育成に努めましょう。
- ・女性団体間の交流を充実していくとともに、女性のエンパワーメントに資する取組や情報交換などを行いましょ。

○職場では：

- ・資格取得や職業能力開発にチャレンジする意欲を高めるため、女性従業員の能力開発講座等への参加促進等を行いましょ。

(3) 男女共同参画の視点に立った地域活動の促進

【目指す将来像】

- 地域に残るこれまでの慣行を見直しながら、すべての人が、参加したい行事や伝統芸能、防犯、防災、見守り活動などに自由に参加し、つながりを持って地域活動するまち

【現状と課題】

沖縄には優れた文化がたくさんあり、本町においても綱引き、エイサーなどをはじめとする伝統と文化に恵まれたまちです。祭りや伝統文化の中には、旗頭、獅子舞、綱引きなどでは、男性が担うものという風習があり、女性が参加できないなど、地域における「男性社会」の傾向が見られます。

令和3年度<2021年度>に行った町民意識調査では、男女の地位の平等感について、「社会通念・慣習・しきたりなどで」で男性優遇を感じるという割合(「男性の方が優遇されている」+「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合わせた割合)が73.9%(平成23年(2011年)調査時64%)と非常に高く、また「地域活動・社会活動の場で」では43.5%(平成23年(2011年)調査時37.6%)が男性優遇を感じています。この結果は10年前の調査時より上昇しており、地域社会における男女平等の推進が必要となっています。

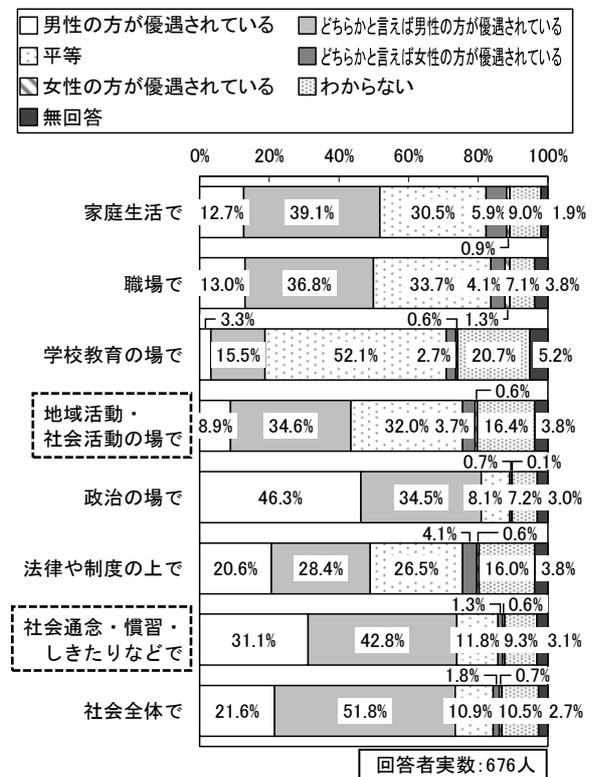
本町においては、男女共同参画週間でのパネル展を開催し、社会制度や慣行についての見直しとその意識づくりのための広報・啓発活動を行っています。また、女性が主体となった活動の強化を図るべく各女性団体が連携し、交流できる機会を確保してきました。防災分野においては、女性の視点を踏まえた避難所の在り方検討も必要であり、女性の意見を災害・防災対策に取り入れながら地域防災に取り組むことも大切です。

活力ある地域社会を築くためにも、社会通念・慣行での男性優位を見直すきっかけづくりをしていくとともに、すべての人が同じ立場で共に地域社会に参画し、協働で支え合っている地域社会づくりが必要です。

【基本的な考え方】

地域活動を行う上で、誰もが参加でき、多様な考え方が地域づくりに活かされることを目指します。また、地域の社会通念や慣行について、男女共同参画の視点でより望ましい方向へ見直しを行うことで、地域の活性化や組織の活動強化につなげます。

男女の地位の平等感



地域防災においても、男女共同参画の視点で、災害時の避難や避難所、被災後の生活等について検討し、地域防災に取り組みます。

【具体施策】

具体的な施策	施策の内容	担当課
①町民の自治会や各種団体の活動への参加促進	すべての人がともに自治会や各種団体の活動に参加し、多様な考え方が地域づくりや各種活動に活かされるよう、広報や様々な講座等を行い、自治会や各種団体の活動など様々な地域活動への町民の参画を促進します。	総務課 企画財政課 住民環境課 保健福祉課 教育総務課 生涯学習文化課
②社会制度・慣行の見直しと意識づくり	家庭、職場、地域社会などにおける社会制度や慣行について、すべての人が社会の一員として対等な立場で意思決定をし、自らの責任を果たせるようにしていくなど、意識の啓発を図ります。	企画財政課
③伝統文化・芸能・工芸における男女共同参画への理解促進	伝統的な性別意識・慣行のある伝統文化・芸能・工芸について、性別に偏らず、希望する人が参加できるように促すなど、時代に合った伝統文化・芸能・工芸の保存と継承について理解促進を図ります。	生涯学習文化課
④防災の分野に関する意見の反映や女性委員の登用	町の地域防災計画や災害時の避難、避難所や被災後の生活での様々な問題を解決するために、女性やその他多様な方々の視点を取り入れたり、防災会議の委員などに登用を図ります。	総務課
⑤第三次南風原町男女共同参画計画～まじゅんプラン～推進に向けた町民組織の育成支援・連携体制の充実	地域や職域等で男女共同参画や、人権問題等に関する調査、研究などの取組を行う団体の育成を支援し、連携体制の充実に努めます。	企画財政課

【家庭・地域・職場に期待する役割】

○家庭では：

- ・男女を問わず、自治会活動等の地域活動に積極的に参加しましょう。
- ・伝統芸能などで興味のあるものには、誰もが積極的に参加しましょう。

○地域では：

- ・自治会活動や、防犯・防災など様々な地域活動への女性の参画を促しましょう。
- ・男女で分けられている役割・慣行が地域の中にないか検証し、皆で改善に向けて話し合うなど見直しを行いましょう。
- ・伝統芸能においては、これまでの男性偏重の慣行を見直し、性別で分け隔てることなく、誰もが参加できるようにしましょう。